

明けましておめでとうございます。同期諸兄弟のご健勝を祈ります。

小生は、初心俳句日記の三年目を迎えました。昨年暮れからの六句を報告します。

春を待つ俳句日記をパソコンで

…世の中をもう一度、裸の幼少時に戻ったつもりで、見たり、感じてみたいと思っている。そして、見えたことや感じた感動を、俳句日記で確認してみたい。

脱腸待て玉の重力減らす暮れ

…鼠経部に脱腸（ヘルニア）の気配を感じてネット検索し、本人が様子見する段階と知り、予防が出来ないかと、二玉一棒を細め手拭いで釣り上げ、重力を腸でなく腹帯で受ける仕組みを考案したところ、腹の調子が良く無事推移中。そのうちに、この仕組みの是非を医者に問うつもりでいる。

玉露割り傘寿寿ぐ温み酒

…「幻の天然玉露」と謳っている、足柄茶「あさつゆ」を常用しているが、五勺晚酌の日本酒「丹沢山」にお茶割りを試したところ、新しい味わいがあり、晚酌カクテルのメニューが増えた。

今年より増やす日課やストレッチ

…筋肉等の老化萎縮硬化を自覚して、これまでの健康体操日課表を見直し、ストレッチの比重を幾分増やした。無理せずこつこつ行こうと思う。

ありがたき出会い祈るや初日の出

…仮の見込百歳までを楽しく暮らすべく、人や歴史や社会との出会いを穏やかに求めて、時間を大事に深めていきたいと祈っている。昨年暮、永く保険会社「日本生命」に勤めたという、立命館アジア太平洋大学学長出口治明氏の「哲学と宗教全史」全五九回講義をダイアモンド・オンラインで読んで感動共鳴した。明治一五三年目の今年正月に、一年前に亡くなった梅原猛氏の2002年著「梅原猛の授業 仏教」を読んで、今こそ現代を生きる人に読んでほしい一冊だと思った。

着ぶくれてバイクで通う墓地散歩

…近くの市営丘陵公園墓地は、初日の出も見に行くが、普段よく行く散歩道でもあり、少し遠いので、時には原付バイクで入り口まで通い、家紋や家名が並び、止まって動かない世界の静けさで、心がりセットされるのを感じている。今年の三が日も通った。